

国際観光都市戦略「さいたまMICE」

目指すべき方向性

本市の持つ様々な資源の魅力を高め、観光資源として活用していくことで地域経済の活性化や交流機会の増加、本市のイメージアップに繋げていく。

「国際観光都市さいたま」として、国際レベルの会議・イベントの誘致をするとともに、国内・海外から多くの観光客を呼び込むため、国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備をはじめ、観光イベントの拡充、さいたまブランドの開発、多言語表示の拡充などを推進します。

施策名

- 1 国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備
- 2 国際レベルの会議・イベントの誘致(コンベンション推進事業)
- 3 半日観光ルート事業
- 4 国際化推進事業(多言語表示の拡充)
- 5 シティセールス活動の展開
- 6 フィルムコミッション事業の充実
- 7 (仮称)岩槻人形会館の整備
- 8 大宮盆栽美術館の運営
- 9 「さいたまるしえ」の開催事業
- 10 さいたま市ブランド推進事業

国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備		経済局 観光政策部 観光政策課				現在の状況																				
1	<p>【取組概要】</p> <p>①-1 東日本の玄関口である、さいたま市の国際観光都市戦略「さいたMICE」の実現のため、さいたま市内への国際シティホテルの誘致とコンベンション施設整備の可能性を探るための調査を実施し、積極的な国際シティホテル誘致等に取り組む。また、民間事業者と観光国際協会に、宿泊等の部会を作るなど、民間とのネットワークを構築する。</p> <p>①-2 誘致・施設整備については、民間の資金と活力を活かし行政負担を最小として、国や国際機関の政策、事業との連携を図り、市の政策目的の実現と地域の活性化につながる長期的な運営を展望できる事業手法と、事業のパートナーとなる事業者の選定を行う。</p> <p>【目指すもの】</p> <p>①国際シティホテル誘致やコンベンションセンター整備の推進・成功による地元経済の活性化を目指す。</p>						<p>(1)誘致活動の指針となる「MICE基本方策基礎調査」として、ホテル事業者の進出意欲や学術団体や業界団体に対しての国際会議やイベントの開催地選定に関する調査等を行っている。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29～平成34年度</th> <th>平成35年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備</td> <td>基礎調査の実施</td> <td>計画案作成、組織体制づくり</td> <td colspan="2">誘致活動</td> <td>誘致活動(時点評価による変更あり)</td> <td>誘致活動(時点評価による変更あり)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">本格始動から3年ないし5年の時点で、事業の成果を評価する(平成30年度)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29～平成34年度	平成35年度～	(1)国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備	基礎調査の実施	計画案作成、組織体制づくり	誘致活動		誘致活動(時点評価による変更あり)	誘致活動(時点評価による変更あり)				本格始動から3年ないし5年の時点で、事業の成果を評価する(平成30年度)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～																				
(1)国際シティホテルの誘致、コンベンションセンターの整備	基礎調査の実施	計画案作成、組織体制づくり	誘致活動		誘致活動(時点評価による変更あり)	誘致活動(時点評価による変更あり)																				
			本格始動から3年ないし5年の時点で、事業の成果を評価する(平成30年度)																							

国際レベルの会議・イベントの誘致(コンベンション推進事業)		経済局 観光政策部 国際課				現在の状況																				
2	<p>【取組概要】</p> <p>①市内には、埼玉スタジアム2002、さいたまスーパーアリーナ等、観客を集める国際的集客施設があり、また大宮ソニックシティや市内にある国際観光ホテルのコンベンション機能も充実している。これらを利用したイベント、コンベンションの誘致、開催支援等を推進するとともに、現行の補助金制度について、会議・コンベンション誘致のインセンティブにつながるよう見直しを行う。</p> <p>【目指すもの】</p> <p>①東日本有数の交通アクセスの良さを活用した全国規模の会議やイベントの誘致による地域経済の活性化を目指す。</p>						<p>(1)本市におけるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、開催団体に対し補助を実施している(平成25年度は、医学系の学会を中心に11件を見込む)。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29～平成34年度</th> <th>平成35年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)コンベンション推進事業</td> <td colspan="4">誘致活動の推進</td> <td>誘致活動の推進</td> <td>誘致活動の推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>現行の補助金制度の見直し</td> <td colspan="2">補助金制度の見直し</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29～平成34年度	平成35年度～	(1)コンベンション推進事業	誘致活動の推進				誘致活動の推進	誘致活動の推進			現行の補助金制度の見直し	補助金制度の見直し						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～																				
(1)コンベンション推進事業	誘致活動の推進				誘致活動の推進	誘致活動の推進																				
		現行の補助金制度の見直し	補助金制度の見直し																							

半日観光ルート事業		経済局 観光政策部 観光政策課					現在の状況												
3	【取組概要】 ①-1 国内外から本市を訪れる観光客に対して、徒歩と公共交通機関を利用して回遊するルートを整備し、本市の魅力を広く周知し、また、市民に対しても市内の観光資源などを再認識してもらう。 ①-2 半日観光ルートに整備する看板については英語を併記し、また、QRコードにより携帯電話等から韓国語と中国語(簡体字)の説明を見ることができるようにする。 (新規設置予定ルート) ・見沼田圃と通船堀ルート(平成26年度に整備予定) ・文化芸術ルート(平成26年度に整備予定) ・浦和レッドダイヤモンドズルート(平成27年度に整備予定)						(1)全8ルートのうち施設整備済は5ルートである。 ・人形のまち・城下町岩槻ルート ・自然満喫ルート ・大宮アルディージャルート ・盆栽村ルート(多言語対応済み) ・鉄道博物館ルート(多言語対応済み)												
	【目指すもの】 ①平成28年度までに、半日観光ルート案内全看板の多言語化対応により、訪問観光客の利便性を向上させる。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29～平成34年度</th> <th>平成35年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)半日観光ルート事業</td> <td colspan="2">見沼田圃と通船堀ルート看板設置・多言語表示化</td> <td>浦和レッドダイヤモンドズルート看板設置・多言語表示化</td> <td>・多言語化の対応 ・多言語化未対応の3ルート(人形のまち・城下町岩槻、自然満喫、大宮アルディージャ)を整備</td> <td>多言語化の対応案内板のリニューアルに対応</td> <td>多言語化の対応案内板のリニューアルに対応</td> </tr> </tbody> </table>								平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～	(1)半日観光ルート事業	見沼田圃と通船堀ルート看板設置・多言語表示化		浦和レッドダイヤモンドズルート看板設置・多言語表示化	・多言語化の対応 ・多言語化未対応の3ルート(人形のまち・城下町岩槻、自然満喫、大宮アルディージャ)を整備
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～													
(1)半日観光ルート事業	見沼田圃と通船堀ルート看板設置・多言語表示化		浦和レッドダイヤモンドズルート看板設置・多言語表示化	・多言語化の対応 ・多言語化未対応の3ルート(人形のまち・城下町岩槻、自然満喫、大宮アルディージャ)を整備	多言語化の対応案内板のリニューアルに対応	多言語化の対応案内板のリニューアルに対応													

国際化推進事業(多言語表示の拡充)		経済局 観光政策部 国際課					現在の状況																			
4	【取組概要】 ①-1 多言語表記に係るマニュアルを作成する。 ①-2 海外観光客が多く訪れる、市内の主要施設やその周辺案内等について、重点地区を定めて取り組むことにより、市内案内板やチラシ等の多言語化を促進する。						(1)海外観光客が多く訪れる施設等の多言語化の現況把握が必要となるため、準備や情報収集等を行っている。																			
	【目指すもの】 ①海外観光客が多く訪れる、市内の主要施設やその周辺案内等について、マニュアルに沿った多言語表記の拡充。																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29～平成34年度</th> <th>平成35年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)国際化推進事業</td> <td>多言語表示の拡充を位置付け</td> <td>マニュアル策定</td> <td>庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼</td> <td></td> <td>庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼</td> <td>庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">多言語表記の推進</td> <td colspan="2">主要施設及び周辺の案内等の多言語表記の推進</td> <td colspan="2">多言語表記の強化を継続</td> </tr> </tbody> </table>								平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～	(1)国際化推進事業	多言語表示の拡充を位置付け	マニュアル策定	庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼		庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼	庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼		多言語表記の推進		主要施設及び周辺の案内等の多言語表記の推進	
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～																				
(1)国際化推進事業	多言語表示の拡充を位置付け	マニュアル策定	庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼		庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼	庁内、関連施設、及び各団体へ多言語表記の周知強化、協力依頼																				
	多言語表記の推進		主要施設及び周辺の案内等の多言語表記の推進		多言語表記の強化を継続																					

シティセールス活動の展開				都市戦略本部 シティセールス部		現在の状況					
5	【取組概要】 ①市長を本部長とする「さいたま市シティセールス推進本部」を設置し、全庁横断的にシティセールスを推進するための体制を整え、本市の魅力を内外に向け広くPRする。また、若手職員による「さいたま市を魅せるプロモーショングループ」の活動を推進する。 ②ビックイベントを活用し、市の魅力を知ってもらい、市の認識度・関心度・都市イメージの向上を図り、訪問人口の増加に取り組む。 ③PRキャラクターの「つなが竜ヌウ」の市内外イベントへの参加機会を促進させるとともに、「ヌウ・サポーターズ・クラブ」(登録者数約1,500人)の活性化を図るための交流会を開催するなど、会員同士の交流の機会を増やすことにより、会員増を促進する。										
	【目指すもの】 ①②③シティセールス活動の推進により、訪問人口・定住人口・誘致企業・物産販売の増加を図り、選ばれる都市を実現する。										
	平成25年度		平成26年度		平成27年度			平成28年度		平成29～平成34年度	
(1) 推進本部会議		体制構築		全庁横断的なシティセールスの推進		全庁横断的なシティセールスの推進		全庁横断的なシティセールスの推進		全庁横断的なシティセールスの推進	
(2) ビックイベント等を活用した市内外への情報発信		体制構築		魅力の向上、情報発信力の強化、周辺環境の整備		魅力の向上、情報発信力の強化、周辺環境の整備		魅力の向上、情報発信力の強化、周辺環境の整備		魅力の向上、情報発信力の強化、周辺環境の整備	
(1) 推進本部において、重点項目としてビックイベントを指定する。 (2) 「さいたまクリテリウムby ツールドフランス」などのビックイベントでPRを行った。											

フィルムコミッション事業の充実				経済局 観光政策部 観光政策課		現在の状況					
6	【取組概要】 ①ロケーション撮影の支援を目的とした撮影スポットや支援内容などを取りまとめた地域ポータルサイトを構築する。 ②さいたま市のイメージアップや観光振興・観光誘客を図るとともに、新たな地域資源を発掘し、魅力ある地域づくりにつなげていくため「さいたま市型フィルムコミッション」の設立を検討し、事業を推進していく。										
	【目指すもの】 ①②ロケ地としてのさいたま市の知名度向上を目指す。										
	平成25年度		平成26年度		平成27年度			平成28年度		平成29～平成34年度	
(1) フィルムコミッション事業		さいたま市型フィルムコミッションの検討・設立		インターネットによる情報発信		地域ポータルサイトの構築、運用の検討		地域ポータルサイトの構築、運用		フィルムコミッションの機能強化	
(1) 職員が、通常業務の中で撮影希望者とロケ地管理者の仲介等に対応している。											

(仮称)岩槻人形会館の整備		市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部 文化振興課 文化施設建設準備室					現在の状況
7	【取組概要】 ①人形文化の振興を図る拠点施設として(仮称)岩槻人形会館の整備を行う。						(1)－1 所蔵品の調査・研究、資料の整理、保存、公開といった開設準備を進めている。 (1)－2 平成25年度は、プラザノースで所蔵品展を開催し、シーノ大宮等で講演会を実施した。
	【目指すもの】 ①観光客の増加による地域経済の活性化を目指す。						
	(1)(仮称)岩槻人形会館の整備	平成25年度 ・所蔵品展の開催 ・講演会の開催	平成26年度 施設整備等の準備、推進	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	

大宮盆栽美術館の運営		市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部 大宮盆栽美術館					現在の状況
8	【取組概要】 ①開館以来、盆栽の歴史や意義を多様な観点から研究して、分かりやすく公開し、講座・講演会などの普及活動を展開している。併せて、ギャラリー及び庭園に常時貴重盆栽を展示し、盆栽の素晴らしさに気軽に触れられる観光を兼ねた美術館を目指す。地域と協働して、大宮盆栽協同組合や様々な盆栽団体、盆栽作家と共催して企画展を開催し伝統産業の活性化を図るとともに、新たな取組として、(仮称)盆栽アカデミーの実施を始めとする各種施策の推進による来館者増を図る。						(1)平成25年度は、「盆栽村の歴史展」や一般向けに「盆栽のつくり方」講座などを催し、盆栽文化の普及に努めた。
	【目指すもの】 ①更なる大宮盆栽のブランド化を目指す。						
	(1)大宮盆栽美術館の運営	平成25年度 WEBやFBIによる情報発信	平成26年度 ・シニア世代への普及活動 ・ボランティア養成	平成27年度 ・開館5周年シンポジウム ・世界盆栽大会プレイベント	平成28年度 ・内部評価の実施 ・展示・講座を開催	平成29～平成34年度 (仮称)盆栽アカデミー開講、海外との姉妹提携	

「さいたまましえ」の開催事業		経済局 観光政策部 観光政策課					現在の状況
9	【取組概要】 ①さいたま市の推奨土産品、B級グルメ、スイーツ、カクテル等の「食」をテーマにしたイベント「さいたまましえ」を実施し、実際に見て、食べて、買ってもらうとともに、出店者の認定制度の検討を行う。 ②訪問観光客の拡大と地域経済の活性化を図ることにより、さいたま市の「食」のブランドイメージを確立する。						(1)平成25年10月に行われた「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」に併せてフランスの食文化の紹介も含めて開催した。また平成26年3月には、ウォーキングイベント「さいたまーチ」と連携して「食」のイベントを開催する予定となっている。
	【目指すもの】 ①②さいたま市の「食」のブランドイメージ確立を目指す。	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	
(1)さいたまましえの開催事業	年2回開催	年2回開催	年2回+α開催	年2回+α開催	年2回+α開催	年2回+α開催	

さいたま市ブランド推進事業		経済局 経済部 商業振興課					現在の状況
10	【取組概要】 ①さいたまましえ等と連携し、さいたまスイーツを「さいたま市ブランド」として定着させる。 ②活用可能な地域資源や既存ブランドを掘りおこし「さいたま市ブランド」として確立し、広くPR等の支援をする。 ③平成21年度から平成23年度に構築した「さいたま市ブランド」(大宮盆栽だー！！、岩槻ねぎ等)を継続してPR等の支援をする。						(1)ー1 「さいたまスイーツプロモーション」として「さいたまスイーツ」を独自のパンフレット等でPRを行っている。 (1)ー2 平成25年度は「さいたまスイーツ」を活用し、消費拡大と地域商業の活性化を目的に、店舗を回遊するイベントを実施した。
	【目指すもの】 ①②③さいたま市の都市イメージアップを図るとともに地域資源や既存ブランドの掘り起しを行う。	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	
(1)さいたま市ブランド推進事業	スイーツをPRするイベント開催	スイーツをPRするイベント開催	さいたまましえと連携し、更なる普及・促進を図る		担当課が連携して、ブランドの普及・促進を図る	担当課が連携して、ブランドの普及・促進を図る	